歴史と文教の城下町

広報 たかなべ

2021
1
No.428

令和3年　新年のごあいさつ

高鍋町長　黒木 敏之

新年、明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、夢と希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶びを申し上げます。また、日ごろより町政運営に対しましてご理解とご協力を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界各地に広がり、個人生活や企業活動が一変する中、世界同時不況、米国大統領選挙の混乱、東京オリンピック、パラリンピックの延期、安倍晋三前首相の突然の辞任に伴う「アベノミクス」の終了、菅義偉首相が就任してコロナ禍の対応や経済再生の舵取りをするなど、世界史に残る激動の年であったと考えます。

本町におきましても、新型コロナウイルス感染症が発生し、町内のすべての行事や集会が中止や延期となり、併せて観光飲食業を中心にあらゆる産業が不況に陥り、その支援と対応に全力を注ぎました。

また、豪雨や大型台風など大規模な自然災害が多発しました。幸い、本町では大きな被害は避けることができましたが、町民の皆さまの安心・安全を守る防災力強化は急務であり、永年の悲願であった宮越樋管の増設に向けての取り組みが始まったことや、塩田川の堤防のかさ上げ工事、河川の浚渫工事等が実施されたことは、町内の河川の氾濫や家屋の浸水被害等の問題解決に向け大きな前進になったものと考えます。

昨年のコロナ禍の中での主な出来事といたしましては、宮崎県市町村対抗駅伝競走大会において、高鍋町のチームが悲願の準優勝を勝ち取りました。また、秋月種茂公没後200年シンポジウムを開催し、作家・童門冬二先生の講演を行い、そのご縁で本年2月に「小説・秋月鶴山」が発刊されることになりました。

観光面では、比木神社から鴫野浜を結ぶ自然豊かな歴史の道が、世界的に評価されるトレッキングコースとして九州オルレ「宮崎・小丸川コース」に認定されました。

産業面では、まちづくり会社・株式会社マチツクルが設立され、街並み保存、空き家対策の取り組みを始めたほか、エイムネクスト株式会社により「小澤治三郎生家」が改修され、宿泊施設として利用価値を高めました。また、株式会社メモリード宮崎により完全民営化された高鍋温泉めいりんの湯がリニューアルオープンしました。

そして迎えた新たなる年、2021年、予測不可能な状況にありながらも、時代の潮流を認識しながら、高鍋町はさらに改革を推し進め「豊かで美しい歴史と文教の城下町」の再生に取り組んでまいります。町民の皆さま方の積極的なご支援とご協力をお願い申し上げます。

高鍋町議会　議長　緒方 直樹

明けましておめでとうございます。令和3年の年頭にあたり、町議会を代表して謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆さまにおかれましては、新しい年が佳き年でありますよう、新型コロナウイルス感染症の終息を願うとともに、ご健康とご多幸をお祈り申し上げます。また、平素より町議会に対し温かいご理解とご協力を賜り、議員一同心より御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るい、オリンピックをはじめさまざまな行事等が中止または延期になるなど、日本のみならず世界中の方々の日常生活に大きな影響を与えた年でありました。

本町においても同様にさまざまな行事の中止・延期があり、多大な経済損失が発生するなど暗い影を落とした年でありました。

町議会としても、町当局から提案された新型コロナウイルス感染症対策費について審議するだけでなく、独自に「新型コロナウイルス感染症対策協議会」を立ち上げ、町民の皆さまが安心して暮らすためにPCR検査の拡充および医療関係従事者の全面的サポートの要望等を上げております。今後も予断を許さない状況が続きますが、町民の皆さまと一緒に新型コロナウイルス感染症に負けない環境を作り上げていきたい所存です。そのためにも、町議会に対し要望・意見を頂きますようお願いいたします。

また、本町においては、教育委員会が現在使用している高鍋町役場庁舎第2別館の建て替えと高鍋商工会館の建て替えの時期が合ったことから、教育委員会が高鍋商工会館に入居することが決定しております。これにより、支出を抑えるとともに予算の平準化が図られることから、未来を見据えたまちづくりや子どもたちのためのより良い環境づくりができると期待しております。

そして、ここ数年においては、多くの企業が立地していることから、本町の産業、経済が大きく発展することも期待しているところです。町議会は、その発展のために何が必要であるかを考え、町当局に対し提案し、そして協力していく所存です。

最後に、今、時代は新型コロナウイルス感染症によって大きな変革期を迎えております。本町もこの時代の変化に対応することは必須であります。先に述べた発展の達成だけでなく、また直面する問題だけでもなく、今後の未来を考えた町政の課題解決についても町当局と協力し合い、是々非々で議会としての役割を最大限発揮できるよう、使命感と責任を持って取り組んでいきます。そして町民の皆さまが安心して暮らせる町、住みやすい町、豊かな町「高鍋町」を目指していきたいと考えます。

今後とも町民の皆さまの温かいご支援とご指導をお願い申し上げますとともに、本年が穏やかな良い年になりますよう、皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつといたします。

丑年生まれ
今年の抱負!!

今年は丑年。町内の丑年生まれの皆さんに、今年の抱負などを伺いました。

おおしげ　ともお
大重 智郎さん
(昭和48年生まれ)

ガソリンスタンドのマネージャーとして統括をしています。日々、お客さまとの交流を楽しんでいます。

プライベートでは食べ歩きや飲むことが好きで、色々なグルメを楽しんできました。安心して外出できる状況になったら、またいろいろな所に足を運びたいです。

今年の抱負は地域に貢献することです。昨年消防団を退団したので、ボランティアなど別の形で地域とのつながりを大切にしていきたいです。

いわむら　かずひろ
岩村 和裕さん
(昭和36年生まれ)

本町一番街商店街の会長をしております。昨年はほとんどのイベントが中止になり、楽しみにされていたお客さまには申し訳ない気持ちです。今年は、しっかり対策を取りながら実施していきたいと思います。

ここ数年、同級生たちとの飲み会やゴルフの機会が多くなりました。昔話だけでなく、将来についても語り合いたいですね。

子どもも今年社会人になるため、少し肩の荷が下りた気がします。家族皆の健康が一番の目標です。

まつお　しんいち
松尾 信一さん(昭和24年生まれ)
まつお　ひさのり
松尾 尚徳さん(昭和48年生まれ)
まつお　みく
松尾 美空さん(平成21年生まれ)

信一さん：ゴルフ場やカラオケスタジオなどを経営しています。お客さまとの交流が一番の楽しみです。今年も前向きにいろんな活動に取り組み、前進していきたいです。

尚徳さん：ゴルフ場に毎日出勤しているので、健康管理に気を付けています。今年も家族が健康な１年であってほしいと思います。

美空さん：小学２年生から習っているピアノや琴の練習に加えて、勉強を頑張りたいです。

やました　さえこ
山下 小衣子さん
(昭和12年生まれ)

町高齢者クラブ連合会と下屋敷の高齢者クラブの副会長（女性部長）をしています。

日々、編み物や縫い物、料理などをしています。家族や友達などが家に来ることが多く、にぎやかで飽きません。

今年の抱負は健康で過ごすことです。また、家族との旅行が思い出に残っているので、安心して旅行ができる状況になったら旅行にも行きたいです。兵庫や四国に住む子どもや孫たちにも会いに行きたいですね。

まわたり　かのん
馬渡 花穏さん
(平成21年生まれ)

私が所属する和太鼓チーム「舞鶴一座秋月鼓童」は、いろいろなイベントで演奏します。昨年はなかなか演奏する機会がなかったので、今年は機会が増えると嬉しいです。普段から皆で一緒に太鼓を叩くのが好きです。

今年は小学６年生になるので、下級生のお手本になる行動をしたいです。放送委員会で下級生に仕事を教えたり、大きな声であいさつをすることを頑張りたいです。

あらたけ　ゆきか
荒武 薫香さん
(平成9年生まれ)

高鍋信用金庫に昨年入庫し、都農支店で働いています。お客さまが私を訪ねてきてくれることがとても嬉しいです。

休日は家族や友人と一緒にドライブすることが好きです。雑貨屋さんを巡ったり、ドライブ中に歌ったりするのが楽しいですね。

今年から営業担当になるため、今は先輩と一緒に外回りをして学んでいます。さらに知識と経験を得て、お客さまからのご相談を親身に受けたいと考えています。

いわきり　ちはる
岩切 千陽さん
(昭和60年生まれ)

高鍋デンジャーズM．B．C（ミニバスケットボールクラブ）でアシスタントコーチをしています。

子どもたちの１日ごとの成長を見ることができるのが面白いです。子どもたちの気持ちを想像しつつ、客観的にも見ながら指導しています。

今年は、制限のある今だからこそできることを見つけて取り組みたいです。

クラブでは随時団員を募集しているので、興味があればぜひ町体育館に見学に来てください。

令和３年新成人に向けて

町では、１月５日の令和３年高鍋町成人式の実施に向けて準備を進めてまいりましたが、全国的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大が収まらないことから、新成人の皆さんをはじめ、そのご家族、町民の皆さん、成人式に関わる全ての方の健康と安全を考慮し、成人式を中止することといたしました。

残念ながら式典は行われませんでしたが、準備の様子や、新成人感謝の言葉、恩師からのビデオメッセージの一部などをご紹介いたします。

成人式に向けた準備の様子

▲令和3年成人式実行委員たちが成人式のしおりを作成する様子

▲成人式のしおり

令和３年成人式実行委員会は、７月から12月まで毎月集まって協議を重ね、しおりや恩師からのビデオメッセージの作成、当日の司会やあいさつなど、多岐にわたる準備を行いました。

それぞれ違う環境にいる委員たちが、時間を合わせたり、連絡を取り合ったりすることに苦労しながらも、式典のために皆がそれぞれの役割を務め上げました。

実行委員長
橋口（はしぐち）　奈央（なお）さん

私は成人式は当たり前に行われるものだと思い、今まで準備してきましたが、中止という結果になりました。とても辛く、悔しいですが、成人式実行委員会のみんなと話し合いながら作り上げていったことが思い出になりました。

20歳になって責任など背負うものが増えますが、しっかりと自分の役目を果たしていきたいと思います。だからこそ、どんな場面でも誰からも頼られる、責任を持てる大人になりたいです。

成人式実行委員会の皆さんに今後の抱負などを聞きました

総勢20名の令和３年成人式実行委員会の中から３名の方に、成人式への思いや今後の抱負を伺いました。

成人式の開催に向け、これまで準備を行ってきた成人式実行委員会の皆さん、本当にありがとうございます。

書記
古小路（こしょうじ）　卓也（たくや）さん

今年の成人式は開催することができませんでした。コロナ禍ということもありましたが、成人する方々にはとても申し訳ない気持ちでいっぱいです。

しかし、成人することについては、楽しみにしていることがたくさんあります。東京で美容師として働きますが、その中で「お客様へ勇気を与える美容師」を目標に取り組んでいきます。これまで多くの方に支えられてきたので、これからは誰かのためにできることをしていきます。

副実行委員長
是澤（これざわ）　歩実（あゆみ）さん

令和３年高鍋町成人式が中止になってしまい残念な気持ちでいっぱいです。成人するという実感はあまりありませんが、大人になることに対しての自覚をもち、責任ある行動を心掛けていきたいです。

私は看護学校に通っています。今年は実習、就職試験、国家試験に向けての勉強があるため、今まで以上に努力し、より成長していきたいです。また、今まで支えてくれた家族、先生、友達に感謝の気持ちを忘れず、日々精進していきたいです。

高鍋町成人式で新成人代表の甲斐裕紳（かい　ゆうしん）さんが述べる予定であった新成人感謝の言葉をご紹介します。

新成人感謝の言葉

本日は、私たち新成人のために、このような素晴らしい式典を催していただき、誠にありがとうございます。
新成人を代表して心より感謝申し上げます。
私たちが生を受けて早二十年が経ちますが、成人式という人生の節目、そして、大人としての門出を迎えることができたのは、私たちにたくさんの愛情を注いでくれた家族や今まで熱心にご教授くださった先生方、幼い頃から暖かく見守っていただいた地域の皆さまのおかげです。皆さま方への感謝の気持ちは、言葉では言い尽くすことができません。
私たちは、本日、新成人として新たな一歩を踏み出し、大人として、社会の一員として未来を切り拓いていくことになります。
私たちの中には、大学や専門学校で日々勉強し自分の目標に向かって努力している者、就職して仕事に毎日奮闘している者もいます。
これからは、立場は違えど、ここまで支えて下さった皆さまに感謝するとともに、一人ひとりが成人としての自覚や自分の行動への責任を持ち、社会に貢献できるよう、常に前を向いていきたいと思います。
まだ、社会人として未熟な面も多く残している私たちですが、自分が今できる精一杯の努力をして、恥ずかしいことなく生きていきたいと思います。
人生の先輩方、今後ともどうか、ご指導ご支援のほど、よろしくお願いいたします。これをもって「新成人感謝の言葉」といたします。
本日は、誠にありがとうございました。

令和三年一月五日
新成人代表　甲斐　裕紳

恩師からのビデオメッセージ

高鍋町成人式で放送する予定であった恩師からのビデオメッセージの一部をご紹介します。

大坪拓也先生（当時は高鍋東中学校）
君たちは今、自分の道または自分の夢に向かって歩いている途中だと思います。先生はずっと応援してますので、もし時間があれば成長した姿を高鍋東中学校に見せにきてくれると嬉しいです。

古賀潤一先生（当時は高鍋東小学校）
大人になると、自由にできることが増える分辛いことや責任も増えてきます。それらと上手に向き合い、楽しさや喜びを見つけて、これからの人生をぜひ充実させていってください。

後藤由紀先生（当時は高鍋西中学校）
あなたたちとの３年間は宝物です。その素直さや頑張ろうというひたむきさに、先生はいつも元気をもらっていました。成人しても、そのひたむきさを大切にして頑張ってください。

谷博喜先生（当時は高鍋西中学校）
先生の定年退職前の３年間、皆さんと一緒にやってきました。とても熱い３年間だったと思います。いろいろと大変な時期ですが、夢の実現に向けて頑張ってください。応援しています。

人生の大切な節目を迎えた新成人の皆さん、これから大いに飛躍してください。

矢野博彦団長が藍綬褒章を受章

高鍋町消防団の矢野博彦団長が藍綬褒章を受章しました。

矢野団長は1993年に町消防団に入団、副団長などの要職を歴任し、2014年から団長を務められています。今回の受章に対し、矢野団長は「周囲の支えがあったから受章できました。大変光栄でありがたいです。これからも町民の生命と財産を守るために頑張っていきたいです」と話されました。

▲（左から）古賀直樹副団長、矢野博彦団長、藤原一信副団長

消防関係表彰

例年、年始に高鍋町消防始式が行われますが、今年は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、中止となりました。それに伴い、消防始式で行われていた消防関係の表彰式も中止となり、後日、受賞者には表彰状のみ手渡されます。

受賞者の一部をご紹介します（敬称略）。

◆宮崎県知事表彰

第６部	団員	三枝　敏郎

◆宮崎県消防協会長表彰

【功績章】

第１部	団員	大木　和人

【精績章】

副団長		藤原　一信
第２部	団員	岩村　道章
第12部	班長	冨田　正仁

【特別表彰（親子）】

指導員		岩元　学
第10部	班長	岩元　風太

【特別表彰（兄弟）】

第３部	団員	黒木　敏史
第12部	団員	黒木　信作

◆東児湯支部長表彰

指導員		岩元　学
指導員		大井　恵太
直轄部	団員	大田　龍一
第１部	団員	杉田　友樹
第２部	団員	有村　真樹
第４部	団員	前田　孝
第５部	団員	岩岡　雅彦
第９部	団員	押川　拓矢
第10部	団員	岩野　辰也
第11部	団員	永友　三雄
第11部	団員	樫原　良宏
第12部	班長	関谷　友紀

100歳おめでとうございます！

11月に町内で2人の方が100歳を迎えられました。これからもどうぞお元気で毎日をお過ごしくださいね！

矢野（やの）　敦子（あつこ）さん

矢野さんは歌を歌うのが好きで、中でも昔の童謡や演歌をよく歌われます。よく噛んで食べるのが長寿の秘訣だそうです。

杉浦（すぎうら）　チヱ子（こ）さん

杉浦さんは技能着付士の資格をお持ちで、80歳を過ぎても日本舞踊をされていたそうです。お祝いの賞状を受け取り、笑顔を浮かべられていました。